

# 11. 免疫

## Immune Disorders

【1】期 間 2019. 5. 24～2019. 6. 3

【2】担当教員（◎は主責任者）

コース責任者 ◎村川洋子（准教授，内科学第三）

担当講座：免疫学，膠原病内科，整形外科，リハビリテーション部，耳鼻咽喉科学，小児科学，検査部，病態病理学

【3】一般目標 [G10 (General Instructive objective)]

膠原病および膠原病類縁疾患，免疫不全症の病態を理解し，症候，診断，治療について学ぶ。

1. 各疾患における原因，病理所見を理解する。
2. 各疾患における血液検査，尿検査，免疫学的検査の意義や動向を理解する。
3. 各種自己抗体と疾患や病態との関連性を理解する。
4. 各疾患における病態，症候，診断法，治療，予後について理解する。
5. 自己免疫の概念を理解する。
6. 標的治療と免疫学的機序の関係を理解する。
7. 原発性免疫不全症の病因（機序），症候，診断，治療，予後について理解する。

【4】総合評価

コース終了時に，その週の学習効果を試験で評価します。総合評価には試験成績の他にチューターによる評価なども考慮されます。

【5】参考図書（◎は学生購入推薦図書，他は図書館に備えてあります）

1. 内科学. 矢崎義雄 総編集 朝倉書店
2. 膠原病学 塩沢俊一著 丸善
3. 内科医のためのリウマチ・膠原病診療ビジュアルテキスト 上野征夫 医学書院
4. Rheumatology, Klippel, Dieppe Eds. Mosby Arthritis and Allied Conditions, Koopman Eds. Williams & Wilkins
5. Dubois' Lupus Erythematoses and related diseases. Wallace, Hahn Eds. Williams & Wilkins
6. 先端医療シリーズ 19 ・ アレルギー・リウマチ・膠原病「アレルギー・リウマチ・膠原病の最新医療」先端医療技術研究所
7. 現代リハビリテーション医学 改訂第3版 千野直一 編 金原出版 2009年
8. 膠原病診療ノート—症例の分析・文献の考察・実践への手引き 第三版 三森明夫、2013年
9. アミロイドーシス診療のすべて—ガイドライン完全解説、山田正仁 2011、医歯薬出版
10. 図説関節リウマチの手術 松井 井上 勝呂 編集 MEDICAL VIEW社 2002年
11. 標準整形外科第9版 鳥巢岳彦 医学書院 2005年
12. EXPERT 膠原病リウマチ第2版 住田孝之編 診断と治療社 2006年
13. 全身性エリテマトーデス 臨床マニュアル 第2版増補 橋本博史 日本医事新報社 2014年
14. リウマチ病学テキスト 改訂代2班 診断と治療社 2016年

【6】局所解剖 なし